

## 空前の新書ブーム！読者は“品格”をどう見ている？

相次ぐ参入と増刷・新刊！トレンドの新書2冊に迫る！

第2号

発行日 2007年 12月



国家の品格 / 藤原正彦  
新潮社 税込714円



女性の品格 / 板東真理子  
PHP新書 税込756円

最近、書店の店頭を賑わせているのは単行本でも文庫でもなくいわゆる“新書”。別に新書とはいっても新刊本のことでなく、いわゆる新書版サイズのシリーズ本のことである。

いまから5年前、2002年頃は年間売れ行き30位以内に入った新書はなく、ちょっと知的な書店内の脇役という存在だったにも関わらず、その後、養老孟司氏の『バカの壁』（新潮新書）で一躍大ブレイク。2004年には4冊がランクイン、そして2006年には新書史上最多の250万部の出版部数を記録した藤原正彦氏の『国家の品格』をはじめ10冊の新書がランクインして、一気にブームに火がついたのである。

さて、この新書ブームを支えているのが『国家の品格』や板東真理子氏の『女性の品格』に代表されるキーワード“品格”であろう。この“品格”は2006年の新語・流行語大賞（ユーキャン）のトップテン大賞の受賞や、ドラマ『ハケンの品格』（日本テレビ）などでも記憶に新しいが、ここ最近の新書の世界でも渡辺昇一氏の『日本人の品格』が出版されるなど、勢いはいまだに衰える様子はない。

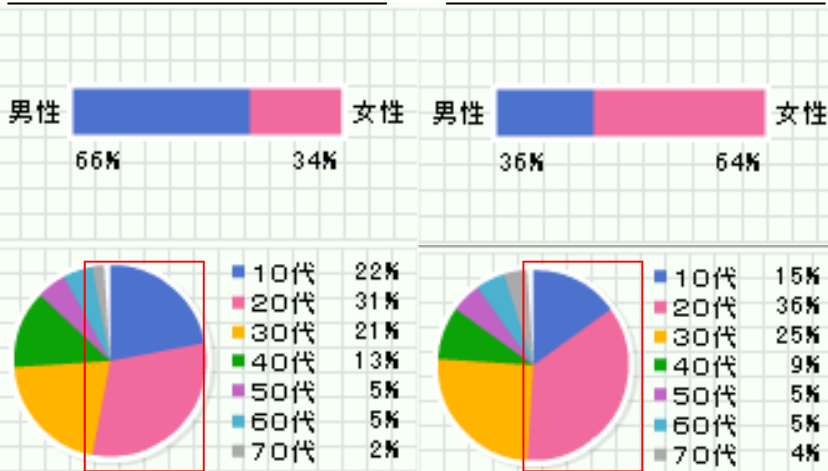
そこで今回は、この品格ブームの火付け役と中興の祖である『国家の品格』『女性の品格』の2冊の新書にスポットライトをあて、ブログスフィアを用いて、その口コミの様子を解析してみた。

言わずと知れた話題の新書2冊。『国家の品格』は重版を重ねて現在250万部、『女性の品格』は現在100万部を突破する空前の大ベストセラーとなった。論理性と合理性を重視する最近の日本人の風潮に対し、情緒、型、品位という日本古来の文化的な切り口から批判を展開し、失われつつある日本人の魂の重要性を説いている。

## 10代をも魅了した「国家の品格」、女性20代に手強い人気の「女性の品格」

「国家の品格」の  
口コミプロガープロフィール（属性）

「女性の品格」の  
口コミプロガープロフィール（属性）



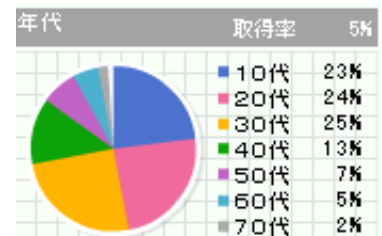
さて、これら空前の大ベストセラーの2冊。それぞれの書名を検索キーワードにしてブログスフィアを用いて解析をしてみた結果が左のグラフとなる。

みなさんはこのグラフを見てどのようにお感じになったであろうか。まず10代、20代といった若年層の口コミが幅広く起こっている点に注目してもらいたい。なかでも『国家の品格』は10代の読者の口コミが20%に達している。その昔、中公、岩波、講談社の『御三家時代』の教養路線が新書の王道であった頃には、考えられない結果である。

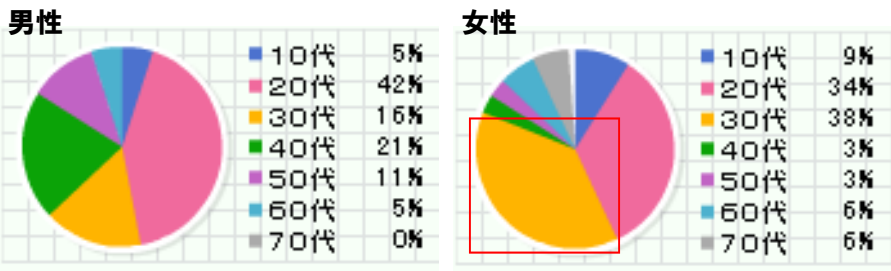
そう、これら品格シリーズは、バブル経済崩壊後の失われた10年に多感な少年期を過ごし、経済合理性一辺倒の社会に反発を感じている若者たちの心をしっかりとつかんでいる、といえよう。

### ここが違う！ BlogSphere独自のサービス『ユーザー属性分析』

ところでなぜ、ブログの執筆者のプロファイルがわかったのか、と思われた方はいらっしゃいませんか？これこそブログスフィア独自の「ユーザー属性分析」機能の威力なのです。この機能はブログスフィアの最大の特徴の一つで、ブログ本文から、書き手の性別・年齢層・職業・未婚既婚などの属性情報を推定できる機能なのです。



## 『女性の品格』についての解析結果を、さらに性別にドリルダウンしてみると



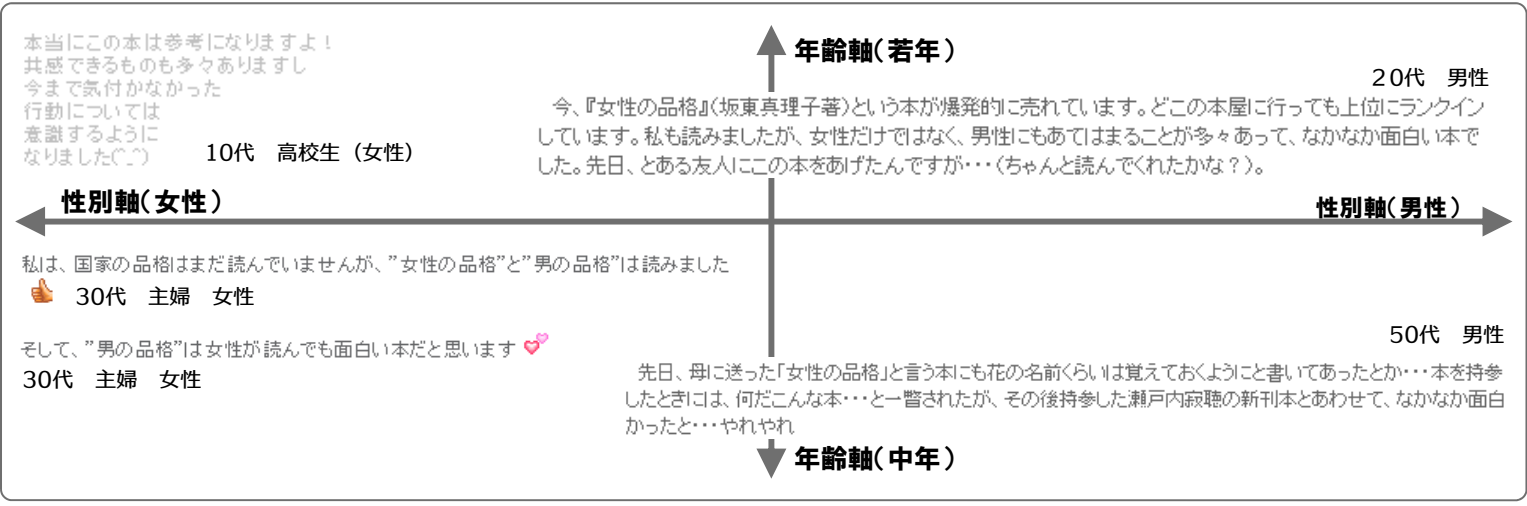
さて、ここでさらに『女性の品格』に絞って、その属性情報を見てみたい。左の円グラフは、「女性の品格」に関するブログの書き手を性別にドリルダウンして、その傾向をより深く分析してみたものだ。

一目見てわかるとおり、男性・女性でわずかに、その傾向が異なっていることが見てとれるであろう。特に異なるのは30代である。女性の日常の立ち振る舞いに対する品位を求めた内容である、この『女性の品格』は特に30代の女性のなかで、大きな反響を呼んでいることがグラフから見てとれるのである。

**コトワ**

ブログスフィアの最大の特徴は、人工知能を用いて、ブログの書き手の属性情報を推計していく点ですが、さらに、その情報を用いて、ブログのさらなる絞り込み（ドリルダウン）を行うことができます。  
※ドリルダウン時には、性別判定不可能なデータは除外した上、属性情報を集計します。

## 年齢を超えて共感を得る『女性の品格』。男性にとっては女性への代弁役？



さて、最後に『女性の品格』についての生ブログを見てみたい。上記は縦軸に年齢、横軸に性別をとり主要ブログを配置したポジショニングマップだ。性別を超えて共感を得ている同署だが、特に男性は近い女性へのプレゼントに選んでいる様子が見ええる。そう、男性にとって『女性の品格』は、近い女性に品位の向上を促す代弁者の役割なのであろう。

## 業界注目！ブログマーケティング・サービス、いよいよ開始！

ブログスフィアを、新商品の反応調査のために、まず、その効果を試してみたい、または年間数回の催事における効果検証のためだけにブログスフィアを使いたい、そういうお客様のためにブログスフィアを用いたリーズナブルなマーケティング・サービスが始まります。その名も“ブログスフィア・レポートニング・サービス”。効果を試したい！というお客さまは、当社担当までぜひご連絡ください。

製品・レポートについてのお問い合わせは



最先端テクノロジーをマーケティングへ



< ご連絡先 / 編集・発行 >  
 株式会社キーウォーカー (Keywalker, Inc.)  
 〒105-0001 東京都港区虎ノ門3-19-13スピリットビル6F  
 mail info@keywalker.co.jp  
 TEL 03-5402-8120 (担当) 永田,大塚